

# 聖路加国際大学・聖路加同窓会 看護職生涯学習講演会

主催/聖路加国際大学、聖路加同窓会 後援/公益社団法人福岡県看護協会

### 「拡大する看護の役割—地域の期待に応える看護とは—」

# 人の健康と日々の暮らしを支える力に

先進的で質の高い高等看護教育に定評のある、東京の聖路加国際大学(旧聖路加看護大学)。1925年に創設された聖路加同窓会会員約4500人は、会員相互の親睦だけでなく、さまざまな職種の人や市民との交流の場も設けています。7月29日には福岡市天神にあるレゾナント夢天神ホールで、九州支部の設立を記念し「拡大する看護の役割—地域の期待に応える看護とは—」のテーマで、看護職生涯学習講演会を開催(公益社団法人福岡県看護協会後援)。各分野で活躍する同窓生が、人々の健康と日々の暮らしを支える看護職の役割について話しました。同窓会会員をはじめ、看護職者や看護職志望者、一般市民ら約140人が熱心に耳を傾けました。

## 基調講演

### 「拡大する看護の役割 地域を耕し、はぐくむ活動を通して」 地域ニーズに応えるほど看護の機能を発揮



ケアーズ訪問看護ステーション  
白十字訪問看護ステーション  
暮らしの保健室室長  
NPO法人マギーズ東京センター長

#### 秋山 正子氏

39歳の頃、肝臓がんを患った姉を自宅でとった経験から、訪問看護の道に進みました。1992年に東京都新宿区で在宅ホスピスを中心に訪問看護活動を開始し、暮らしの中で療養する人々や

その家族を支えるケアを重視した医療の現場に看護を届けようと、さまざまな取り組みを展開してきました。訪問看護では、例えば104歳の利用者の方の容体が悪化した時には、かかり

つけ医や看護師、介護士などが連携してケアを行い、病院に行くことなく最期まで自宅で家族に見守られながら穏やかに過ごしていただけた。高齢者だけでなく障害や特殊な病気のある人などが住み慣れた地域で暮らし続けられるようにする地域包括ケアが充実する中、2007年から始めたのが、在宅療養推進のシンポジウムです。

保健室で力を入れているのは、地域住民や看護職、医師、歯科医師、薬剤師など、いろいろな職種の人々が

11年に、都会の限界集落といわれる都宮団地(戸山ハイム)の一角に「暮らしの保健室」を開設しました。訪問看護を通して病気の予防に関わる必要性を感じ、訪問看護につながる前の段階の人たちが、気軽に相談できる場所をつくりたいと考えたのです。国の在宅医療連携拠点事業に手を挙げて実現したので、自分たちでアクションを起こすことの大切さを実感しました。

英国発祥の「マギーズセンター」は、病院ではなく第二の我が家のような空間の中で、ストレスや悩みを抱えるがん患者やその家族の一人一人に、経験豊富な医療従事者が寄り添い、サポートする場所です。全て

集まる勉強会です。利用者の相談内容や生活支援、介護予防の在り方などを検討し、情報は地域にフィードバックしていきます。また東京家政大学と協力して、戸山ハイムの今後を考える住民参加型の会「戸山未来あつなう」も立ち上げました。住民の力を引き出し、自助共助を手助けするのにも大事な役目と考えています。

さらに15年9月は看護小規模多機能型居宅介護施設を開設し、16年10月にはがん患者と家族の相談支援の新しい形であるNPO法人「マギーズ東京」を設立しました。

こうした活動を続けることは、いわば「地域を耕す」と考えています。関係も生まれ、地域共生社会が深化していきます。個別ケアから始まった訪問看護が地域や人々のニーズに応じて発展し、看護としての機能を発揮できる場が広がっています。今後さらにどんな役割が求められるか、引き続き探っていきたいと思います。

### 「People-Centered Care」と認知症ケア」 世代間交流を通じたケアを開発



聖路加国際大学  
大学院看護学専攻  
老年看護学教授  
同大研究センター  
PCC実践開発研究部部長  
同大WHO看護開発  
協力センター長  
亀井 智子氏

厚生労働省の2016年の調査によると、65歳以上の高齢者の認知症有病率は16%で、患者は増え続けることが予想されています。そのような状況を踏まえ、地域包括ケアシステムにおいて、医療や保健、福祉、リハビリテーション、住宅関連など、多職種間の連携が求められています。子どもによる落語の披露や世代間交流書道などを盛り込んだ多世代交流型イベント「アロハム」(聖路加和みの会)では、認知症や高齢者の症状のある高齢者の参加者に良い変化をもたらしています。

### 「行政が看護職の地域活動に期待すること」 地域貢献を目指して活動を拡大



厚生労働省  
健康局健康課  
保健指導室長  
加藤 典子氏

「地域で支える重い病気をもつ子どものいのちと育ち」福岡子どもホスピスプロジェクトの活動をお話して」

「災害における女性の健康支援」

「多様な視点を合わせ、新たな看護活動を」

「拡大する看護の役割—地域の期待に応える看護とは—」

「People-Centered Care」と認知症ケア」

「行政が看護職の地域活動に期待すること」

「地域貢献を目指して活動を拡大」



九州大学大学院医学研究院  
保健学部門看護学分野  
准教授  
瀧田 裕子氏

### 「地域で支える重い病気をもつ子どものいのちと育ち」福岡子どもホスピスプロジェクトの活動をお話して」

医療技術の進歩によって、以前より子どもの難治性疾患の治療率や生存率は向上しました。しかし重い病気や障害がある子どもが地域で家族と心豊かに暮らすには、医療や福祉の従事者だけでなく、芸術関係などのさまざまな職種の人たちの支えが必要です。

福岡子どもホスピスプロジェクトを有志で立ち上げたのは2010年のこと。英国発の子どものホスピスの活動との出会いと力を合わせてきました。

「災害における女性の健康支援」

「多様な視点を合わせ、新たな看護活動を」

「拡大する看護の役割—地域の期待に応える看護とは—」

「People-Centered Care」と認知症ケア」

「行政が看護職の地域活動に期待すること」

「地域貢献を目指して活動を拡大」

「拡大する看護の役割—地域の期待に応える看護とは—」

「People-Centered Care」と認知症ケア」

「行政が看護職の地域活動に期待すること」

「地域貢献を目指して活動を拡大」

「People-Centered Care」と認知症ケア」

「行政が看護職の地域活動に期待すること」

「地域貢献を目指して活動を拡大」

## 聖路加国際大学での学びと、看護の世界

聖路加国際大学の歴史は、聖路加国際病院の創設者である聖路加の看護婦人B・トイスターが1920年に設立した聖路加国際看護学校に遡ります。創立100周年(2020年)を前に、カリキュラムの刷新に基づいて最新の教育を行い、教育の質を高め、日本の看護を支えたいと、今年度より、日本の看護界、国内外の大学、病院、地域や企業など様々な分野でリーダーとして活躍しています。

2017年学部入試相談日程

学内ツアーと入試相談を組み合わせ約60分の相談会を開催しています。

日程 8/26(土) 9/30(土) 10/7(土) 11/25(土) 12/9(土)

時間 10時・12時・14時・16時(予約制)

申し込み 入試サイトの申込フォーム、Emailもしくはお電話にて申し込みください。

## 聖路加国際大学の特色

- 充実した実習環境
 

日本有数の先端医療を実践する聖路加国際病院での実習が中心、標準的な実習量の2倍近い実習で臨床に強い看護士を育てます。
- 海外留学
 

短期留学経験者の割合が高い大学第3位(英教育誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」2017日本版)

  - 海外協定校数 15校
  - 海外派遣学生数 学部68人/大学院30人
  - 希望者は、在学中に一度は留学できるよう国際奨学金による支援体制を整えています(支給率99%)
- 少人数教育
 

1学年の定員は100名。教員1人あたりが受け持つ学生数は約6人です。授業だけでなく生活全般に目が届くようアドバイザー制度を導入し、教職員全員で卒業までをサポートします。

## 聖路加国際大学 入学案内

区分	出願期間	試験日	合格発表
一般入試 A方式	2017.12/25~	一次 2018.2/1	二次 2018.2/3
		二次 2018.2/5	三次 2018.2/7
一般入試 B方式	2018.1/22	2018.2/9	2018.2/14
看護学部	自己推薦	2017.10/6~10/20	2017.11/16
看護学部	2017.10/6~10/20	推薦生	2017.11/7
		指定校	2017.11/16
		学士3年次編入	2017.9/9
		2017.8/8~8/25	2017.9/9
看護学 研究科	2017.8/28~9/8	修士1期	2017.9/23
		2017.9/20~9/29	2017.10/13
		2017.10/13	2017.10/19
		2018.2/15~2/21	2018.3/3
公衆衛生学 研究科	2017.6/12~8/31	第1期	2017.9/19~9/23
		2018.1/9~1/19	2018.1/28-30

お問い合わせ  
Tel:03-5550-2347 E-mail:nyushi@slcn.ac.jp

入試サイト <http://university.luke.ac.jp/admission/>